



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月14日

上場会社名 シャクリー・グローバル・グループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8205 URL
 代表者 (役職名) 代表執行役 (氏名) 佐藤 彰展
 問合せ先責任者 (役職名) 代表執行役管理本部長 (氏名) 佐藤 彰展 TEL 03-3340-3601
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,819	△10.9	311	389.2	202	—	△143	—
2019年3月期第1四半期	6,529	△8.3	63	△17.5	△128	—	349	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △544百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 809百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△105.24	—
2019年3月期第1四半期	256.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	33,502	13,818	41.2
2019年3月期	34,893	14,444	41.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 13,818百万円 2019年3月期 14,444百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,812	△2.2	1,167	6.6	559	△20.4	△263	—	△193.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	2,592,000株	2019年3月期	2,592,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,230,255株	2019年3月期	1,230,227株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	1,361,763株	2019年3月期1Q	1,361,878株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日までの3ヶ月間）におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に雇用情勢や個人消費に改善がみられ、輸出や生産の弱さが続いているものの、緩やかな回復基調で推移いたしました。

またその他のアジア地域における経済は米中通商問題等様々な要因により不確実な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、顧客やスーパーバイザーの増加に引き続き力を注いでまいりました。

当期の当社グループの売上高は、主に北米及びその他アジア地域での売上規模の減少により総売上高10,515百万円（前年同期比10.6%減少、為替の影響を除くと11.1%減少）、純売上高（売上割戻差引後）5,819百万円（前年同期比10.9%減少、為替の影響を除くと11.4%減少）となりました。

営業利益は、純売上高が減少したものの、経費削減努力により販売費及び一般管理費が減少したため311百万円（前年同期比389.2%増加、為替の影響を除くと387.4%増加）となりました。

経常利益は202百万円（前年同四半期は経常損失128百万円）となりました。

また親会社株主に帰属する四半期純損失は143百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益349百万円）となりました。前年同四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益には、新株予約権戻入益829百万円の特別利益が含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、棚卸資産、現金及び預金等が減少した結果、総資産は前連結会計年度末に比べ1,391百万円の減少となりました。

負債につきましては、未払売上割戻金、未払費用等が減少した結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ765百万円の減少となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ626百万円減少となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失により143百万円減少、為替換算調整勘定が440百万円減少、また会計方針の変更により利益剰余金の期首残高が81百万円減少した一方、退職給付に係る調整累計額が41百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月20日に公表いたしました連結業績予想から修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,200	15,556
売掛金	1,495	1,364
商品及び製品	2,424	2,278
原材料及び貯蔵品	1,005	849
その他	1,370	1,653
貸倒引当金	△11	△10
流動資産合計	22,485	21,693
固定資産		
有形固定資産	2,055	1,957
無形固定資産		
のれん	3,068	2,827
商標	4,245	4,120
その他	1,548	1,453
無形固定資産合計	8,861	8,400
投資その他の資産		
その他	1,492	1,451
投資その他の資産合計	1,492	1,451
固定資産合計	12,408	11,809
資産合計	34,893	33,502

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,359	1,280
1年内返済予定の長期借入金	689	677
1年以内のリース債務	437	433
未払売上割戻金	2,129	2,005
未払法人税等	186	178
未払費用	1,618	1,181
代理店研修会議費引当金	13	62
ポイント引当金	73	15
その他	780	1,005
流動負債合計	7,286	6,840
固定負債		
長期借入金	8,962	8,809
長期リース債務	1,362	1,264
役員退職慰労引当金	2	3
退職給付に係る負債	1,584	1,540
繰延税金負債	146	140
その他	1,104	1,084
固定負債合計	13,162	12,843
負債合計	20,449	19,684
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	1,205	1,205
利益剰余金	19,528	19,302
自己株式	△7,333	△7,333
株主資本合計	13,499	13,274
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	4
為替換算調整勘定	1,034	593
退職給付に係る調整累計額	△94	△53
その他の包括利益累計額合計	945	544
純資産合計	14,444	13,818
負債純資産合計	34,893	33,502

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	6,529	5,819
売上原価	2,497	2,263
売上総利益	4,032	3,556
販売費及び一般管理費	3,968	3,245
営業利益	63	311
営業外収益		
受取利息	45	57
為替差益	—	39
その他	4	13
営業外収益合計	49	110
営業外費用		
支払利息	168	161
為替差損	37	—
その他	36	58
営業外費用合計	242	220
経常利益又は経常損失(△)	△128	202
特別利益		
新株予約権戻入益	829	—
特別利益合計	829	—
特別損失		
特別退職金	185	78
弁護士報酬	—	79
減損損失	—	10
特別損失合計	185	168
税金等調整前四半期純利益	515	33
法人税等	165	177
四半期純利益又は四半期純損失(△)	349	△143
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	349	△143

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	349	△143
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△1
為替換算調整勘定	445	△440
退職給付に係る調整額	14	41
その他の包括利益合計	460	△400
四半期包括利益	809	△544
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	809	△544

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(米国財務会計基準審議会会計基準編纂書(ASC)第606号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

米国会計基準を採用している海外関係会社においてASC第606号「顧客との契約から生じる収益」を当第1四半期連結会計期間より適用しております。

これにより、約束した財又はサービスが顧客に移転された時点で、当該財又はサービスと交換に権利を得ると見込む対価を反映した金額で、収益を認識しております。

当該会計基準の適用については、経過的な取扱いに従って、本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用し、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の利益剰余金の期首残高は81百万円減少しております。なお連結損益計算書に与える影響は軽微であります。